

十地院

十地院は元々開山堂の西側にある広大な敷地を占めていた。現在の場所は、書寫山で唯一瀬戸内海が望める塔頭である。十地院には慈悲の観音菩薩像が収められている。その名前の十地という言葉は、菩薩になるための 52 段階の最後の 10 段階を指している。

この建物は、大ヒットしたハリウッド映画『ラストサムライ』（2003）でトム・クルーズが撮影の合間の休憩に使用した。お寺の人々は「トムの家」と呼んだ。撮影中、トム・クルーズは毎日、神戸のホテルから専用ヘリコプターで圓教寺に通っていた。